

はじめと終わりの気持ちをくらべよう

🔍 たしかめ --- 🗨️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

📖 きょうの
めあて

物語のはじめと終わりで、人物の
気持ちがどう変わったかをくらべよう

🔍 読む文章

① カイは、プールが苦手だった。水に顔をつけると、こわくてすぐに顔を上げてしまう。

② コーチは、「まずは、三つ数える間だけ がまんしてみよう。」と言った。カイは目をつぶり、心の中で三つ数えた。

③ 練習を続けた最後の日、カイは十まで数えても、平気になっていた。水から顔を上げると、思わず にっと笑った。

🗨️ いっしょにやってみよう

れい はじめのカイの気持ちは？

① ①の段落を見る。

② 「こわくて」とある。

③ 答え 水がこわい

✎ やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 終わりのカイの気持ちは？

☐ できるようになって、うれしい

☐ まだこわい

② カイが変われたのは、何をしたから？

☐ 三つ数えることから、練習を続けたから

☐ 一回でがまんしたから

③ はじめと終わりで、カイの数えられた数は どう変わった？

() つ → ()

答え

1. できるようになって、うれしい

2. 三つ数えることから、練習を続けたから

3. 三 (つ) → 十

漢字（動き③）

たしかめ いっしょに やってみよう（3もん）

きょうの
めあて

動きを表す漢字「飛・選・参・続」を読んで書こう

きょうの漢字

音 ヒ
訓 と(ぶ)
飛 ひこうき と
飛行機・飛ぶ

音 セン
訓 えら(ぶ)
選 せんしゅ えら
選手・選ぶ

音 サン
訓 まい(る)
参 さんか さんこう
参加・参考

音 ゾク
訓 つづ(く)・
つづ(ける)
続 つづ れんぞく
続く・連続
左は いとへん

いっしょにやってみよう

れい 「さんか」を漢字で書くと？

① 「参」と「加」
を合わせる。

② 「加」は前に
学んだ漢字。

③ 答え 参加

やってみよう

できたところまでで OK

① 線の漢字の読みがなを書こう。

(1) 鳥が空を飛ぶ。

(2) 好きな色を選ぶ。

(3) 大会に参加する。

(4) 雨の日が続く。

② □に漢字を書こう。

(1) ひ 行機

(2) せん 手

(3) さん 考にする。

(4) 話の き

③ 正しい送りがなに○をつけよう。

(1) 一つ（選ぶ・選らぶ）。

(2) 読み（続ける・続づける）。

答え 1. (1) と (2) えら (3) さん (4) つづ 2. (1) 飛 (2) 選 (3) 参 (4) 続 3. (1) 選ぶ (2) 続ける

様子をくわしく表す言葉

🔍 たしかめ --- 🗣️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

🚩 きょうの
めあて

音や様子を表す言葉を使い分けて、様子をくわしく表そう

🔍 まず、たしかめよう

- 音や様子を表す言葉は、少しのちがいで様子が変わる。
- 雨がしとしと ふる（静かに、細かく）・ざあざあ ふる（はげしく）
- ドアを とんとん たたく（軽く）・どんどん たたく（強く）

🗣️ いっしょにやってみよう

れい 「風が（ ）ふく。」で、強い風なら？

① そよそよ・
びゅうびゅう
をくらべる。

② 強い風は
びゅうびゅう。

③ 答え **びゅうびゅう**

✎ やってみよう

♡ できたところまででOK

① 様子に合う言葉に○をつけよう。

- (1) 赤ちゃんが（すやすや・ぐうぐう）ねむる。
- (2) 雪が（しんしん・ざあざあ）ふる。
- (3) 星が（きらきら・ぎらぎら）光る。

② 「ぎらぎら」が合うのは？

☐ 真夏の強い日ざし

☐ ろうそくの小さな火

③ 「歩く」様子を表す言葉を使って、一文書こう。

答え 1. (1) すやすや (2) しんしん (3) きらきら 2. 真夏の強い日ざし 3. 例：ねこが、のそのそと歩いている。

考えと理由をはっきり書こう

🔍 たしかめ --- 🗨️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

🚩 きょうの
めあて

自分の考えと、その理由を、つながりが分かるように書こう

🔍 まず、たしかめよう

- 考え：「わたしは、～と考える。」「～がよいと思う。」
- 理由：「なぜなら、～からだ。」「そのわけは、～からだ。」
- 理由は、考えを読んだ人が「なるほど」と思えるものにする。

🗨️ いっしょにやってみよう

れい 考え「図書館で本を借りるとよい」。理由は？

① 「なぜ よいのか」
を考える。

② お金をかけずに、
たくさん読めるから。

③ 理由 いろいろな本を、
お金を
かけずに読めるから

✎ やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 考えと理由がつながっていないものは？

☐ ア 歩いて行くのがよい。なぜなら、体を動かせるからだ。

☐ イ 歩いて行くのがよい。なぜなら、雨がふっているからだ。

② 理由を表す言い方を二つ選ぼう。

☐ なぜなら、～からだ

☐ そのわけは、～からだ

☐ たとえば、～

☐ そして、～

③ 「夏と冬なら、わたしは（ ）が好きだ。」（ ）に入れて、理由も書こう。

答え

1. イ 2. なぜなら、～からだ・そのわけは、～からだ

3. 例：冬が好きだ。なぜなら、雪で遊べるし、温かい飲み物がおいしいからだ。

読点で意味が変わる

たしかめ --- いっしょに --- やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

読点を打つ場所で、文の意味が変わることに気づこう

まず、たしかめよう

- 読点（、）は、文を読みやすくしたり、**意味の区切り**をはっきりさせたりする。
- 読点を打つ場所で、**だれが何をしているか**が変わる文がある。
- リンさんは、笑いながら走ってくるソラさんを見ていた。...笑っているのは ソラさん
- リンさんは笑いながら、走ってくるソラさんを見ていた。...笑っているのは リンさん

いっしょにやってみよう

れい 「ゆいさんは、急いで走るハルさんを追いかけた。」で、急いでいるのは？

① 「ゆいさんは」の
後で区切れる。

② 「急いで」は
「走る」にかかる。

③ 答え 急いで
いるのは **ハルさん**

やってみよう

できたところまでで OK

読点は、文を読みやすくするだけでなく、意味の区切りをはっきりさせる働きもある。

① 「ゆいさんは急いで、走るハルさんを追いかけた。」で、急いでいるのは？

☐ ゆいさん

☐ ハルさん

② 泣いているのが「ケンさん」と分かる文は？

☐ ケンさんは泣きながら、手をふるミオさんを見送った。

☐ ケンさんは、泣きながら手をふるミオさんを見送った。

③ 手をふっているのが「アオイさん」と分かるように、読点を一つ打って書こう。
アオイさんは手をふりながら走るミナトさんを見ていた。

答え

1. ゆいさん 2. ケンさんは泣きながら、手をふるミオさんを見送った。
3. アオイさんは手をふりながら、走るミナトさんを見ていた。